

市史編さん室 事務局活動報告

(平成二十一年一月～二月)

I 古文書等調査報告

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、各専門部会活動の資料とするため、市内にある古文書等の史料について、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

平成二十二年一月から二月の間に、一五件の文書群(総点数七二二点)について調査を終えた(一部を除き、次項にそれぞれの文書群についての解説を付した)。これで、平成一九年度より四九件(総点数一三〇〇点超)の調査を終えたことになる。なお、平成二十二年一月末日段階で、三四件(総点数三一〇〇点超)の史料群を借用しており、現在、調査を進めている。ほかに、熊谷市で所蔵している一七件(総点数二五〇〇点超)についても、随時、調査を行っていく予定である。

二 調査終了文書群の紹介

藤城城一氏収集文書 三点

近世・近代文書。藤城氏が収集した文書である。文久三年(一八六三)五月から慶応元年(一八六五)七月「立庵日録」、明治三年(一八七〇)八月から明治五年(一八七二)四月「淡如堂日知録」があり、これらは石原村の医者志村立庵(淡如堂)が作成した記録である。他に嘉永五年(一八五二)、四方寺村吉田六左衛門への「御触鑑札」がある。

久下岩崎達雄家文書 二点

近代文書。明治一〇年(一八七七)「久下村・新川村村誌略」と、明治一〇年代「(新川村地番図写)」であり、新川村に関する数少ない貴重な記録である。特に

「村誌略」は、明治一〇年に村況を取り調べて埼玉県に提出した際の控である。

上須戸西光院文書 一点

近世絵図。寛政三年(一七九一)「(西光院境内除地絵図)」。作成は絵図師惣兵衛・小兵衛で、西光院栄昶が改めている。絵図には慶長一四年(一六〇九)の検地にもとづいた除地・百姓地等が図示され、各反別も記載されている。また境内地の建築物は、宝暦二年(一七五二)に棟上された客殿・庫裏をはじめ、詳細に図解されており、特徴的である。

三ヶ尻黒田勇家文書 二二九九〇点

近世・近代文書。黒田家は近世に三ヶ尻村の組頭を勤めた。近世は、貢租・金融、近代は、消防団関係文書・地図・書籍が中心である。初見は刊本で、正徳六年(一七二六)「大戴礼記」。古文書の初見は、享保四年(一七二九)一月二日「亥之年田畑御年貢皆済也」。

堀越元雄氏収集文書 九三点

伊勢町大嶋晴隆家文書 六点

近世・近代文書。武蔵国比企郡岡郷(現、東松山市)、同国埼玉郡持田村・佐間村・谷郷(現、行田市)に関係した文書であり、土地・証文関係が中心である。初見は元禄一二年(一六九九)三月「持田組佐間組谷郷組村高帳」。

上中条常光院文書 二二八六五点

中世・近世・近代文書・書籍。朱印状・什物・貸附金・末寺・上中条村関係の文書が中心である。初見は

永禄三年（一五六〇）「堯尊法親王令旨」であり、天正一八年（一五九〇）「禁制（豊臣秀吉禁制）」、文禄三年（一五九四）「小笠原替地吉次証文」等、中世から近世初期の史料がある。近代は、明治前期の布告・諸用留、寺明細帳等が中心である。なお、常光院には一六二八点の書籍が伝存する。仏書等が多い。

石原大塚安夫家文書 八点

近代文書。種痘関係の文書が中心である。初見は大正一〇年（一九二二）「第一期種痘済証」。他には近代の大塚確太郎履歴入りの手帳と、熊谷桜堤の写真がある。

肥塚大西寛家文書 六点

近世文書。大西家は下野国那須郡黒羽田町（現、栃木県大田原市）で魚問屋を営んでいた。史料は卷子に仕立てている。魚問屋に関する申渡しを中心である。初見は嘉永四年（一八五二）「申渡覚（肴売問屋之儀為褒美父子上下着用御免申付二付）」。

小泉田所常行家文書 七七四点

近世・近代文書。田所家は近世に小泉村の名主や掟飼場の野廻り役を勤めた。年貢割付状・皆済目録をはじめとする貢租・村況関係が中心である。初見は寛永一四年（一六三七）「上吉見之内小泉村丑御成ヶ割付之事」。

最後に、古文書の調査をさせていただいた所蔵者の皆様に厚くお礼申し上げます。

（文責 一 蛭間健悟 二 栗原健一・水品洋介）

Ⅱ 民俗基礎調査報告

一 民俗基礎調査の実施

「住生活・交通・交易」について、熊谷地域を対象に、平成二十一年一月二十五日、熊谷市立熊谷図書館において、調査員に委嘱状を交付、説明会を開催し調査を開始した。調査員は三〇人で、調査期間は平成二十二年二月二十六日までであった。

①住生活

戦後の経済成長とともに、住宅の造りや宅地の利用方法も大きく変化してきた。かつては、商家の多い町場と農村部では大きな特徴の違いが見られた。しかし、生活様式の変化に伴い、昭和三〇年代頃から建替え・改築が盛んに行われ、木造建築のほかに、鉄筋を用いたコンクリート、モルタル造りが増え、地域に違いのない家が増えてきた。住生活では、このような変化が見られる前の屋敷構えや家の構造・間取り、また住まい方、建築儀礼等を対象とした。

②交通・交易

古くからの街道や鉄道・バス・人力車等の交通機関、運搬用具、また、舟運・河岸場・渡船場等の河川交通や、通信等を対象とした交通と、市（イチ）や店商い、行商等の交易を調査の対象とした。

二 調査報告書の刊行

民俗編第六集『生産・生業（熊谷地域編）』

第一章 調査の経緯と質問事項

第二章 総論（調査結果の概要と分析）

第三章 調査票

調査員 四三人

調査件数 一〇一件

A4版 四九五ページ

平成二十一年十月一日発行

一部千二百円で有償頒布

（文責 山本 喜久治）

9・27	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)	11・10	伊勢町大嶋晴隆家文書調査(来館)	12・10	石原大塚安夫家文書返却
10・1	編さん委員会(商工会館)	11・11	筑波柳澤辰夫家文書調査	12・10	肥塚大西寛家文書返却
10・1	民俗編調査報告書「生産・生業(熊谷地域編)」刊行	11・12	群馬県館林市視察(館林市史編さんセンター)	12・10	くまがや古文書学習・研究会と打合わせ(市立熊谷図書館)
10・2	宮町林金吾家文書調査	11・13	永井太田掛川眞純家文書寄附受入	12・19	嶋田家文書調査(佐野市郷土博物館)、上中条常光院文書調査(高橋委員、齋藤委員、鎌倉委員)
10・3	第二回考古専門部会(大里行政セクタ)・調査(旧大里文化財整理所)	11・16	永井太田荻原忍家文書調査(来館)・借用	12・25	別符氏館跡、西別府祭祀、西方遺跡遺物調査(江南文化財センター、浅野委員、齋藤委員)
10・5	高柳高橋泰巳家文書借用	11・17	四方寺吉田康久家文書調査報告		
10・5	宮町林金吾家文書調査	11・18	八木田薬師堂調査	12・26	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)
10・7	永井太田掛川眞純家文書返却・借用	11・18	妻沼聖天山の建築編打合せ	12・28	第一回古代専門部会(市役所)
10・10	第一回近世専門部会(妻沼聖天山)・妻沼聖天堂見学	11・19	筑波柳澤辰夫家文書借用	12・29	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)
10・11	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)	11・25	民俗基礎調査(住生活・交通・交易)調査員委嘱式及び説明会(熊谷地域)		
10・14	新堀中村定弘家文書返却・借用	11・26	埼玉協視察研修(栃木県立文書館・芳賀町総合情報館)		
10・15	小泉田所常久家文書返却	11・29	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)		
10・25	中世石造物調査(妻沼・弥藤吾地区)	11・30	弥藤吾年代地藏堂石仏調査(磯野委員)		
10・26	永井太田掛川眞純家文書寄附申出、文書借用	12・9	八木田観音寺・薬師堂調査		
11・1	第二回近代専門部会・視察(県立文書館)	12・2	本石竹井輝彦家文書調査報告		
11・5	埼玉協理事会・研修会(戸田市立郷土博物館)	12・3	永井太田掛川眞純家文書調査報告		
11・6	熊谷市佛教会長へ調査協力依頼・上	12・4	道ヶ谷戸宝珠院如来堂板碑借用		

IV 事務局紹介

熊谷市教育委員会

教育長

野原 晃

教育次長

大山 整治

社会教育課長 (平成二〇年度)

柴崎 久

社会教育課長 (平成二〇年度)

関口 和佳

市史編さん室 (平成二一年度)

斉木 千春

市史編さん担当副参事

根岸 敏彦

主幹兼室長

山本 喜久治

主任

蛭間 健悟

嘱託

栗原 健一

臨時職員

水品 洋介

井口 雄次

井出 英美子

高井 直美

廣瀬 典雅

松葉 弘美

三俣 美加

望月 潤一

山口 麻緒